

古河の桃林

てくてく情報2012年春号

花桃・水仙

桃林は、江戸時代の初め頃、古河の殿様土井利勝が、江戸で子供達に桃の種をひろわせ、それを古河に送って畑や農家のまわりに植えさせたのが始まりです。

明治から大正時代には、観桃会と称して、花見は盛大になりましたが、次第に桃林の手入れもゆきとどかなくなり、大正7年を最後に観桃会も催されなくなりました。

当時の桃は実桃（食用）で、東北地方に多く出荷されました。

現在の桃林は、昭和50年の開園を期に植えられたものです。花を観賞するために品種改良された花桃を植えています。

花桃も実を結びますが、大きさは梅の実ほどで、甘さに欠けます。



④

真紅の菊桃

花びらが菊の様に細い。
見頃/4月中旬



③

鈴なりの寿星桃

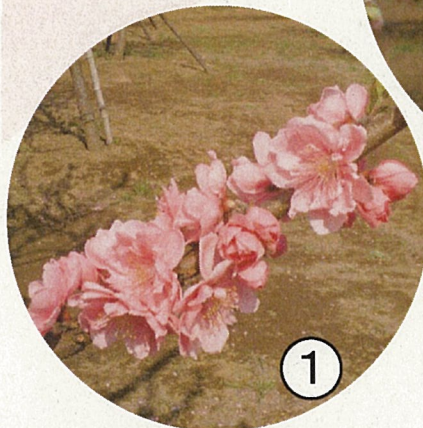
樹高1~2mと低い。
見頃/4月初旬



②

紅白の源平

立ち状とホーキ状の樹形がある。
見頃/4月初旬



①

桃色八重咲きの矢口

花つき、花もちが良い。
見頃/3月下旬



⑤

土日は芝生広場で気球搭乗会！ (3/10より予定)

大人1000円、子供500円。強風、雨天時は中止。



60本の梅が見頃です！

見頃/3月上旬から！



⑥

小ぶりのテイタテイト

見頃/3月中旬から



ラッパの大きなサロメ

見頃/3月下旬から



ブランコの木に咲く花（中山台）

ブランコの木は、榎木に藤のつるが、か
らまったものです。藤なので、もちろん花
を咲かせます。榎木と一体となった
不思議な花木が現れます。

ちなみに、この藤は、つるが時計回りに
上がっているの、ノダフジであることが
分かります。反対回りならヤマフジです。

例年だと、見頃は5月初旬です。旬の
期間は、数日なので日々にチェックしま
しょう！



日本の「トチノキ」（遊具広場）

小学校の教科書に登場する「モチモチの木」で
す。手の平状に分かれて広がっている葉は、複葉
と言って、これで一枚の葉です。8月終わり頃から
実を落とし始めます。



くらべてみよう

園芸種の「ベニバナトチノキ」（駐車場）

マロニエ（セイヨウトチノキ）とアメリカトチノキの
交配種です。日本では、マロニエよりもこちらの方
が、街路樹や公園樹などとして広く普及していま
す。見頃は5月上旬。



花が咲くんです「ユリノキ」（駐車場）

葉の形が半纏に似ていることからハンテンボク
の別名もあります。英語では、花の形からチューリッ
プツリーの名前が付けられています。



5月20日に延期！「新茶まつり」（茶畑）

茶つみ体験（50円）、野点（300円）のほか、
新茶、茶そばや茶葉の天ぷらなどの販売を予定
しております。



ハナショウブ＜花菖蒲田＞

いずれがアヤメかカキツバタ？

花の時期と育つ場所を比べてみましょう。

- ・アヤメ : 5月上旬～中旬、乾いたところ
- ・カキツバタ : 5月中旬～下旬、水中
- ・ハナショウブ : 6月上旬～下旬、湿ったところ

ちなみに、端午の節句の菖蒲湯に使うショウブの葉は、サトイモ科のショウブの葉です。

本種は、アヤメ科のハナショウブです。なにかと、間違われやすい植物です。

アジサイの色について＜桃林・花菖蒲田＞

アジサイの花色は、土が酸性だと青、アルカリ性だと赤です。（リトマス試験紙とは反対！）

その仕組みは・・・アジサイは自分でアントシアニンという赤色の色素を作っています。これだけなら赤です。これに、根から吸い上げた土に溶けているアルミニウムが加わると青色になります。アルミニウムは酸に溶けやすいので、酸性の土にはアルミニウムが多く含まれます。日本の土は、自然の状態で酸性の場所が多いので、青色のアジサイが多くなります。ちなみにヨーロッパでは、土がアルカリ性なので、アジサイと言えば、赤となります。



花桃「矢口（やぐち）」の実



大紅蟠桃（ダイコウバンリョウ）の実

花桃だって実を付けます＜桃林＞

実は成長しても、大きさは3cm程です。ぜひ、目で見て手にとって確かめてみましょう。味は、薄い桃の味です。※害虫駆除の農薬を散布しているので食べないように！

桃林には、果物の品種もあります。珍しいものとして、実がアンパンの様な形をした大紅蟠桃があります。孫悟空は、この実を食べて百人力となったという伝説付きの桃です。元屋敷の四阿のそばに植えられています。

復元された野草 ＜南エリアの道沿い＞

所々に懐かしい野草が咲いています。園内で里山保全に取り組んでいる「もりもりクラブ」が、繁殖させているものです。

6月中旬には、花が提灯（ちょうちん）の様なホタルブクロ、下旬には、花がトラのしっぽの様なオカトラノオが楽しめます。



オカトラノオ



ホタルブクロ

オオガハスを見るついでに、おとなりの池ものぞいて見ませんか

★くらべてみよう！

ハス <大賀蓮池>



- ・葉と花は水の上に立ちあがる。
- ・葉は、水をはじく。
- ・葉に切れ込みがない。

スイレン <浄円坊の池・鯉池>



- ・葉と花は水面に浮かぶ。
- ・葉は、水にぬれる（水をはじかない）。
- ・葉に切れ込みがある。

★鯉池の水生植物のご紹介



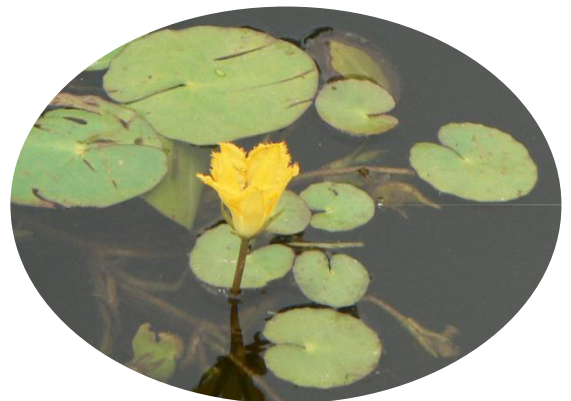
ガガブタ（ミツガシワ科, 多年草）

葉は、大きさ7～20cm程で、形は卵形円形で、裂け目が入る。名前は、葉っぱを鏡のフタに見立てたところから、カガミフターガガブタと呼ばれるようになったそうです。



ガガブタ（スイレン科, 多年草）

水中の根茎が白くごつごつしていることから、河骨（カワホネ）→コウホネと呼ばれるようになったそうです。



アサザ（ミツガシワ科, 多年草）

葉は、大きさ5～10cm程で、形は卵形または円形で、裂け目が入る。花は朝開いて、昼には閉じる。ひとつひとつの花の寿命は一日。

夏は、やっぱり水遊び<中山台>

運転時間は、10:00～16:00。地下100mからポンプでくみあげています。水温は一年を通じて15度前後と、夏は、ちょっとひんやり。源泉かけ流しの、ぜいたくをどうぞ！



??? 見分けがつくと、ちょっとうれしいかも ???



コシアキトンボ
お腹が、オスは白、メスは黄色。



チョウトンボ
ひらひらと舞います。



ショウジョウトンボ
体が真っ赤。羽根の付け根の所も赤い。



ノシメトンボ
よく見かけます。警戒心がうすくて、つかまえやすい。

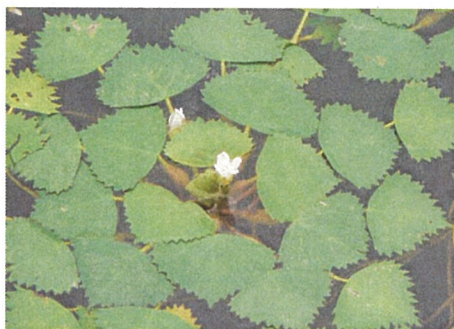


ウチワヤンマ
しっぽのところが、うちわの様な形。



ハグロトンボ
林のふちに多い。別名、カミサマトンボ。

??? 水草に花が咲いています ???



ヒシ（ヒシ科）
直径1cm程の白い花が咲きます。花が咲き終わると、ヒシの実を実らせませす。ヒシの実は、水栗ともよばれ、なかなかの美味です。



ハゴロモモ（スイレン科）
直径1cm程の白い花が咲きます。北米原産の外来種です。ペットショップで、カボンバとかキンギョモの名で販売されています。



タヌキモ（タヌキモ科）
直径1.5cm程の黄色い花が咲きます。食虫植物で、葉の脇に小さなツブツブが付いていて、これにプランクトンが入ると、溶かして養分とします。

??? 沼に浮かぶフヨフヨは ???



オオマリコケムシ

体長1.5mm程の個虫という小生物が集まって、寒天質を分泌して大きな群体となったものです。群体は夏から秋にかけて成長して、休芽という1mm程の次の世代を放出すると、冬にむけて温度が低くなると死んでしまいます。

ちなみに、さわっても大丈夫です！

アメリカ東部原産の生物で、日本では1972年に確認されました。御所沼では、3年前から見られるようになりました。

学術的には、触手動物門苔虫（こけむし）綱掩喉（えんこう）目ヒメテンコケムシ科に属する淡水産小動物だそうです。



ハギ（芋ころがし坂）
 周りでは、キチョウの舞う姿を見かけます。ハギは、キチョウの幼虫の食草なので、卵を産み付けるために集まります。



オミナエシ（南エリア園路）
 機械による均一な草刈りでは、なかなか生き残れない草花です。園内のものは、もりもりクラブにより、手刈りによって管理されています。



ススキ（南エリア園路）
 道の両側150mに渡ってススキが並びます。
 今年の十五夜は9月30日（日）、当日は管理棟デッキでススキの無料配布をします！



コルチカム（グァク小屋前）
 昨年、古河ロータリークラブのご寄付で、400球植えました。花壇の下にある沿岸は、カワセミの餌採り場となっているので、こちらのチャンスもお見逃しなく。



ワタ（雪華園）
 花の時期は、過ぎてしまいましたが、白い綿が、次々と開いています。綿の自給率は明治時代には100%だったそうですが、現在は限りなく0%。見る機会も、すっかり減ってしまいました。



タカノハススキ（雪華園）
 園芸種です。葉に薄黄色の横縞模様が入るのが特徴です。模様が鷹の羽の模様に似ているのが名の由来です。園内にはありませんが、縦縞模様のシマススキという品種もあります。



ハスの果托（大賀ハス池）
 果托は、種が出来る部分です。これが蜂の巣に似ていることから、ハチス→ハスと呼ばれるようになったそうです。



ヒガンバナ（眼洗弁天池）
 虚空像堂や眼洗い弁天池とあいまって、雰囲気を感じてください。アゲハチョウが蜜を吸いに訪れ彩りを添えます。



コスモス（中山台）
 2,000m²程の広さです。去年は、これから見頃という時に台風に倒されてしまいました。今年は、どうかな？

秋の七草とは、オミナエシ、ススキ（オバナ）、キキョウ（アサガオ）、ナデシコ、フジバカマ、クズ、ハギの七種です。万葉集の中で、山上憶良（やまのうえのおくら）が、詠んだ下記の2種が由来とされています。ちなみに春の七草は食べて楽しめますが、秋の七草は眺めて楽しむものです。

- ・秋の野に 咲きたる花を 指折り(およびをり) かき数ふれば 七種(ななくさ)の花
- ・萩の花 尾花 葛花 瞿麦の花 姫部志(をみなへし) また藤袴 朝貌の花

古河総合公園どんぐりコレクション

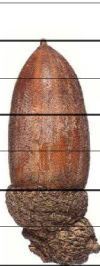
アクぬきしなくても、
炒ったりして食べられる

アクぬきしてから細かくして
他の物にまぜれば食べられる

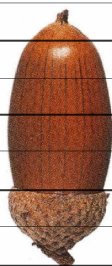
とても渋い



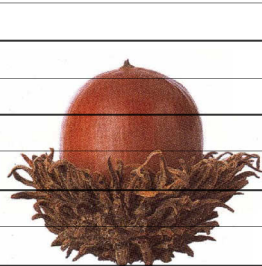
スダジイ



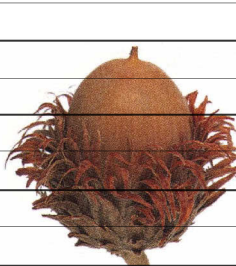
マテバシイ



コナラ



クヌギ



カシワ



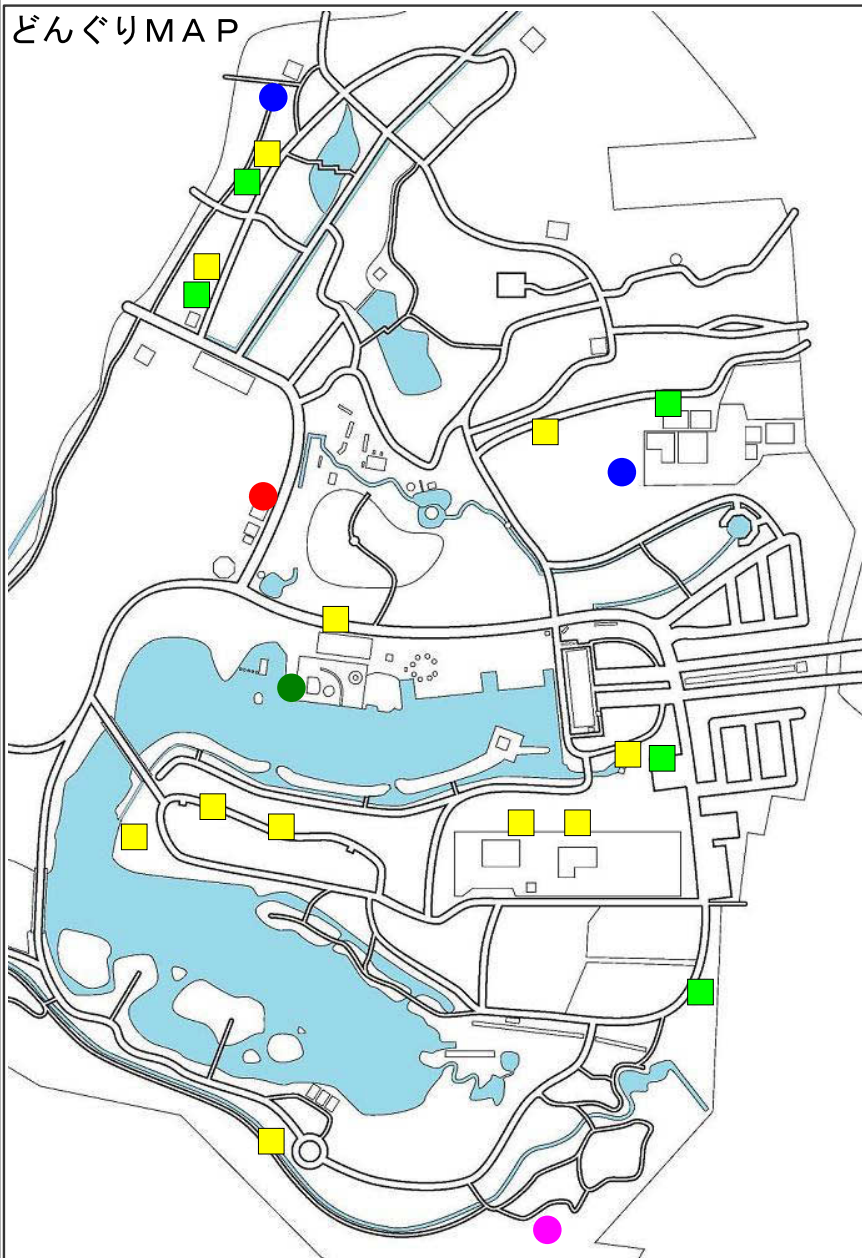
アラカシ



シラカシ



どんぐりMAP



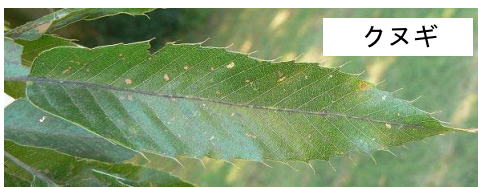
スダジイ



マテバシイ



コナラ



クヌギ



アラカシ



シラカシ



カシワ